

令和7年度 経営発達支援事業

事業評価報告書

福崎町商工会

令和8年4月20日

【全体の講評（総括）】

中小企業診断士 荒木慎吾

本年度の経営発達支援事業は、全体として概ね計画に沿って実施されており、多くの項目において目標を達成または高い水準での成果が確認できる。特に、地域の経済動向調査および需要動向調査については、計画通りの実施と的確な分析・情報発信が行われており、地域事業者にとって有益な基礎情報の提供という点で高く評価できる。また、事業計画策定支援やフォローアップ支援においても、一定の成果が見られ、売上増加や収益改善といった具体的な経営成果につながっている点は評価に値する。加えて、DX や生成 AI といった時代の要請に対応したセミナーの開催や、専門家派遣を通じた実践的支援など、支援内容の質的向上に向けた取組も積極的に行われている。

一方で、経営分析事業者数やフォローアップ頻度、新たな需要開拓（特に即売会関連）においては目標未達の項目も見受けられる。これらについては、事業者の参加促進や支援手法の見直し、事業者ニーズに応じた柔軟な対応など、改善の余地があると考えられる。また、セミナー参加者の地域内事業者比率や、成果把握の精度向上（売上データの取得等）についても、今後の課題として整理する必要がある。支援体制面では、職員研修の充実や OJT、情報共有の仕組み構築、外部機関との連携などが着実に実施されており、組織としての支援力向上に向けた取り組みは非常に評価できる。特に、経営カルテの活用や定期的な支援会議の開催は、継続的かつ組織的な支援の基盤として重要である。

総じて、本事業は一定の成果を上げており、地域小規模事業者に対する伴走型支援としての役割を十分に果たしていると評価できる。今後は、未達項目の要因分析と改善策の具体化を図るとともに、支援対象の拡大や成果の可視化を進めることで、より実効性の高い事業運営へと発展させていくことが期待される。尚、委員会当日に各委員から頂いた御意見を踏まえた上で、今後の取り組みに活用していただきたい。

以上

事業評価及び見直しをするための仕組み（計画書 14P）

経営発達支援計画を円滑かつ効果的に進めるために、行政や支援機関等の外部有識者による事業評価委員会を設置し、年1回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を当会のホームページにより公表し、福崎町商工会の実施する経営発達支援事業の効果的なPDCAサイクルを構築する。

事業評価委員会

区分	所 属	役 職	氏 名	
委 員	中小企業診断士		荒木 慎吾	
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	筒井 康隆	
	中小企業基盤整備機構近畿本部	播磨エリアマネージャー	北島 成浩	
	福崎町地域振興課	町参事兼課長	成田 邦造	
	兵庫県商工会連合会	広域指導センター所長	大上 兵真	
	福崎町商工会	会長		大井 克哉
		副会長		小幡 八郎
		副会長		橋本 正彦
法定経営指導員			船田 和夫	

（評価方法）

- ①事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記する。また、実施した事業（セミナー等）に対する参加者からアンケートを取りまとめる。
- ②外部有識者から①を基に事業成果に対する評価・見直し案について提示を受ける。
- ③評価・見直し案作成のうえ、評価委員会にて事業評価を実施。事業見直し案を作成する。

【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%
D：達成率 1～39% E：達成率 0%

（改善方針の決定）

正副会長会において評価・見直し案を提出、改善方針を決定する。

（事業の成果・評価・見直しの結果の報告及び承認）

理事会・総代会に報告し、承認を受ける。

（公表）

商工会ホームページにて事業評価及び見直した事業計画を公表する。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】(計画書4～5P)

【取組んだ内容】

中小企業景況調査(地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの)を異なる業種で7事業所を対象に四半期ごとに実施し、分析を行った他、兵庫県・経済雇用情調査や地域金融機関からの景況調査を取りまとめ、景気動向分析レポートとして商工会のホームページに4回掲載した。

小規模事業者等が事業計画策定等で効果的に調査レポートを活用できるよう、管内の経済動向等について、より詳細な実態を把握するため、「RESAS(地域経済分析システム)」を活用した地域の経済動向分析を行い、令和8年3月発行の経済動向調査分析レポートに掲載した。

【外部リンク】[景気動向・各種統計ページ - 商工会ホームページ](#)

【令和7年度の目標及び実績】達成率100%

項目	目標	実績
①経済動向調査分析の公表回数	1回	1回
②景気動向分析の公表回数	4回	4回

【評価・コメント】

評価	コメント
A	目標通りの実績を達成出来ている。(荒木)
A	目標どおりの実績でありしっかり取り組んでいる。(筒井)
A	商工会が定期的に地域の経済動向調査を行い、分析結果を適宜公表していることは、地域にとっても国全体にとっても、非常に重要で欠くことのできない業務であると認識しています。(北島)
A	目標通り実施できている。 地域経済の景気動向が反映されたレポートとなっている。(成田)
A	目標を達成しているため。(大上)

2. 需要動向調査に関すること【指針③】(5～6P)

【取組んだ内容】

事前相談や継続支援を行っている事業所を対象にインターネットによるニーズ調査とアンケート調査(BtoC)で2件、FOOD STYLE JAPAN 2026 <関西>/ラーメン産業展 in Kansaiにてアンケート(BotB)を2件実施し、アンケートの分析及び改善計画の策定等事業所支援を行った。

消費者アンケートについては①民間業者へネットリサーチを依頼し、新製品開発のニーズ調査②イベント出展時によるアンケート調査を実施。各事業所に対して、専門家派遣による事前調査項目の精査・分析・今後の方向性について助言を行った。具体的には、①食料品製造業者が、ネットリサーチを実施し20代から40代男女を対象に300件回収。回収した調査回答内容から、コンセプト内容と訴求ポイントについてブラッシュアップを行った。②社会保険・社会福祉・介護事

業者（小物製品販売部門）が、イベント出展時に来場者を対象にアンケートを実施、17件回収。回収した回答内容から、今後の製品と販路について改善提案を行った。

FOOD STYLE JAPAN 2026 <関西>/ラーメン産業展 in Kansai では2者（食料品製造業・その他の製造業）のアンケート調査の支援を実施1者（食料品製造業）については、ブース来場者に対してアンケート調査の支援を実施、2日間で62件回収。回収したアンケート調査をもとに商品の強みと企業ニーズを確認し、今後の販路先の判断材料とした。もう1者（その他の製造業）については、ブース来場者に対して、LINE登録とヒアリングを通じてニーズ調査を実施、2日間で77件のユーザー登録。登録ユーザーに対して、今後、自社製品の訴求ポイント等の確認を行っていく（令和7年度は未実施）。

【令和7年度の目標及び実績】達成率 100%

項目	目標	実績
①消費者アンケートの調査対象事業者数	2者	2者
②商談会やビジネスマッチング等でのアンケート調査対象事業者数	2者	2者

【評価・コメント】

評価	コメント
A	目標通りの実績を達成出来ている。（荒木）
A	目標どおりの実績でありしっかり取り組んでいる。対象事業者数が少ない印象がある。地域のニーズ把握、データ分析がより有効なものとなるよう対象事業者数の増加に努めてもらいたい。（筒井）
A	目標を達成している。また展示商談会に出展した事業者に寄り添った支援が出来ている。引き続きアンケート結果を踏まえたフォローアップ支援をお願いしたい。（北島）
A	目標通り実施できている（成田）
A	目標を達成しているため。ネットでの消費者アンケートについて、20～40代男女を対象にした意図があればご説明をお願いします。（大上）

3. 経営状況の分析に関すること【指針①】（6～7P）

【取組んだ内容】

①経営分析セミナーの開催

- ・名称：知的資産経営支援セミナー
- ・日時：令和7年8月28日（木）13:30～15:30
- ・場所：市川町文化センター コミュニティーホール
- ・講師：有限会社ツトム経営研究所 所長 森下 勉 氏
- ・参加者：44名（福崎町内事業者9名）

企業価値の向上に繋げる知的資産経営について、具体的な事例を踏まえて分かりやすく紹介し、参加事業者が自社の経営課題の解決に取り組むきっかけづくりとなる内容とした。

セミナー開催後に、本セミナーのテーマに関する個別相談は実施しなかったが、その他希望者に応じて個別相談を行い、専門家のアドバイスを受けながら円滑な経営計画書策定へ向けての支援を行った。また、経営計画が事業の見直しや再構築を図る良い機会となるよう、事業発展に向けた支援も行った。

具体的には小規模事業者持続化補助金事業計画策定支援時 9 件、ものづくり補助金事業計画策定支援時 3 件、中小企業新事業進出補助金事業計画策定支援時に 4 件、起業家支援助成金事業計画策定支援時 1 件、福崎町創業支援補助金事業計画策定支援時 3 件、事業継続支援事業計画策定支援時に 3 件、海外展開支援助成金事業計画策定支援時 3 件、経営革新計画策定支援時 3 件、経営力向上計画策定支援時 1 件、先端設備等導入計画策定支援時に 1 件、事業継続計画 (BCP) 策定支援時に 3 件、事業継続力強化計画策定支援時に 8 件、事業承継計画策定支援時に 1 件、合計 28 事業者 46 件の経営分析を行った。

【令和 7 年度の目標及び実績】 達成率 80%

支援内容	目標	実績
①セミナー開催回数	1 回	1 回
②経営分析事業者数	40 者	28 者

【評価・コメント】

評価	コメント
B	「経営分析事業者数が大幅に未達の理由」「セミナー参加者に福崎町内事業者が少ない理由」の 2 点を教えていただきたい。(荒木)
B	個別相談の実施等、充実した支援体制が構築されている。次年度については町内事業者の参加者数増加に努めてもらいたい。(筒井)
A	知的資産経営は、事業者に「自社の価値を客観的に知ってもらい、気づきを与える」取り組みであり、経済産業省や金融庁もこれを推奨しています。また、短期間で効果は出ないが、非常に有効な支援ではないかと思えます。事業者にとっては、不動産担保価値だけでなく、自社の強みや価値を知り、学ぶ機会になります。地味な活動かもしれませんが引き続き取り組んでいただきたい。(北島)
B	②経営分析事業者数が目標値に達していない。セミナーの内容・回数を検討されるか、または参加の呼びかけを強められたらどうか。(成田)
B	概ね目標を達成されているため。経営分析事業者数が伸び悩んでいるように思います。支援事業者の裾野を広げるための工夫が必要な時期がきているように思われます。(大上)

4. 事業計画策定支援に関すること【指針②】(計画書 7～7P)

【取組んだ内容】

①DX 推進セミナーの開催

- ・名称：人手不足解消・業務改善の決定版！最新 AI を使いこなそう！

- ・日 時：令和7年9月8日（月）13:30～16:30
- ・場 所：福崎町商工会館2階多目的ホール
- ・対 象：商工会員
- ・講 師：合同会社そうわ経営パートナー
- ・参加者：16名

様々な生成AIの活用方法を学んでいただくことで、事務作業（文章の作成等）の時間削減を図れる内容で実施した。

【外部リンク】[募集チラシ](#)

②創業セミナーの開催

- ・名 称：創業セミナー
- ・日 時：令和7年9月18日（木）、25日（木）、
10月2日（木）、9日（木）、16日（木）、23日（木）
各回とも13:30～16:30
- ・場 所：福崎町商工会館2階研修室
- ・対 象：
 - ・起業をお考えの方
 - ・開業後5年以内の事業者
 - ・趣味や特技を活かしたビジネスモデルを始めてみたい方
 - ・経営の勉強をしたい方
- ・講 師：コンサルティング・シスト
代表/中小企業診断士 伊藤 慎悟 氏
株式会社日本政策金融公庫姫路支店 融資第二課
上席課長代理 土田 裕 氏
- ・参加者：8名

令和7年度の創業セミナーは、知識取得に留まらず、「自らが経営者として事業を継続する具体的イメージ」を描くうえで極めて有効であった。また、グループワークを通じた相互交流は、「気づきと自覚の深化」を促し、同じ志を持つ仲間との関係構築を実現した。また、セミナー参加者で福崎町が実施する創業支援補助金の申請に向けた支援を1件実施した。

【外部リンク】[募集チラシ](#)

③個別相談会の開催

令和7年度は、個別相談会を開催

- ・名 称：事業拡大・省力化を後押しする2大補助金個別相談会
- ・日 時：令和7年6月2日（月）、3日（火）、4日（水）、
16日（月）、17日（火）、19日（木）
各日とも10:00～12:00、13:00～15:00、15:15～17:15
- ・場 所：福崎町商工会館1階相談室
- ・講 師：中小企業診断士 藤尾 政明 氏
- ・参加事業者数：5者（8件）

前述のセミナー・個別相談会以外に窓口対応にて28事業者38件の事業計画策定支援を行った。

【令和7年度の目標及び実績】 達成率 88%

項目	目標	実績
①DX 推進セミナー開催数	1 回	1 回
②創業セミナー開催数	1 回	1 回
・ 事業計画策定者数	10 者	8 者
③個別相談会開催日数	5 日	6 日
・ 事業計画策定者数	10 者	5 者
④窓口対応での事業計画策定者数	20 者	28 者
事業計画策定者数（合計）※重複除く	40 者	35 者

【評価・コメント】

評価	コメント
B	事業計画策定者数（合計）が未達の理由を教えてください。 （荒木）
A	各種セミナーについては計画どおり実施された。 創業塾は平日夜に開催することで参加が増える可能性がある。 （筒井）
A	地域の中小企業、小規模事業者に対して、AI、DX、人手不足、創業などといった、最近の社会課題に対応するセミナーや相談会を、年間を通じて開催・情報提供しており、高く評価できます。（北島）
A	目標を概ね達成できている。 昨年度からみて大幅な努力が見受けられる。（成田）
B	窓口相談での事業計画数が多く、セミナーや個別相談での事業計画策定数が伸び悩んでいるようなので、原因を分析して達成率 100%を目指していただければと思います。（大上）

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】(7~9P)

【取組んだ内容】

令和7年度に策定した事業計画 54 件及び過年度に策定した事業計画に対し、策定支援にかかわった職員が延べ 109 回支援。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【令和7年度の目標及び実績】 達成率 86%

項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	40 者	44 者
フォローアップ頻度（延回数）	240 回	109 回
売上増加事業者数	10 者	13 者
営業利益率 5%以上増加事業者数	10 者	10 者

【評価・コメント】

評価	コメント
B	「フォローアップ頻度（延回数）が大幅に未達の理由」を教えてください。（荒木）
B	・売上や利益の増加事例も確認されていることから、きめ細やかな支援体制が成果につながっていると評価できる。 ・原油価格の上昇等、経営環境は厳しさを増しており計画策定後のフォローアップの強化を期待したい。（筒井）
A	商工会の職員の方々が、日常の仕事などに忙しい経営者に寄り添って事業計画策定後の支援に継続して取り組んでおられるのは、困難を伴うことと承知しています。本会は、その中でも一定の実績や成果を出しており、評価されるべきと思います。（北島）
A	概ね目標通りの成果となっている。 引き続き支援をお願いします。（成田）
A	フォローアップ頻度は、あくまで売上増加や営業利益率改善のための手段かと思えますので、最終指標の2項目について目標達成できているのであれば、評価を上げて良いのではないかと考えます。（大上）

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】(9～11P)

【取組んだ内容】

②商談会出展事業

小規模事業者が自社の商品に対して有効な販売促進活動の実践を支援するため、FOOD STYLE JAPAN 2026 <関西>/ラーメン産業展 in Kansai への出展支援を実施した。2者が出展（食料品製造業者、その他の製造業者）。兵庫県商工会の特設ブース内に出展することで兵庫県の地域ブランドを活用し、出展効果を高め、1者1小間のトライアルブースでの出展を行った。

支援方法は、専門家派遣制度を活用し、中小企業診断士の芳田 京美 氏を招聘、商談会用のFCPシートや商品陳列、試食方法等の商談に向けたアドバイスを行った。また、商談会当日には職員2名が同行し、商談のフォローを行った。

FOOD STYLE JAPAN 2026 <関西>/ラーメン産業展 in Kansai では2日間で食料品製造業者は見積依頼4件、成約は2件。その他の製造業者は見積依頼1件、成約0件であった。

③マーケティングセミナーの開催

- ・名称：マーケティング×デザインの力で販促力UP
Canvaで実践！チラシ作成セミナー
- ・日時：令和7年7月28日（月）、8月4日（月）13:30～15:30
- ・場所：福崎町商工会館2階多目的ホール
- ・講師：兵庫県よろず支援拠点コーディネーター
中小企業診断士 脇岡 直美 氏
- ・参加者：17者（福崎町内事業者11者）

1日目にマーケティングの基本「誰に」「何を」「どうやって」のターゲット設定と販路開拓の考え方について学び、2日目に販路ツールとしてCanvaを使用したチラシ作成手法について実践形式でセミナーを開催した。

【令和7年度の目標及び実績】達成率 71%

項目	目標	実績
①即売会出展事業者数	2者	0者
売上増加額／者	46万円	0万円
②商談会出展事業者数	2者	2者
成約件数／者	1件	4件
③マーケティングセミナーの開催	1回	1回
セミナー参加事業者数	10者	11者
売上増加率／者（注1）	10%	46%

（注1）売上データが確認できた4者分の増加率となっております。

【評価・コメント】

評価	コメント
B	「即売会出展事業者数、売上増加額／者がゼロの理由」を教えてください。（荒木）
B	近年はSNSを通じた物販が増加傾向にあり、即売会・商談会の出展者確保については前寄りに取り組むことが望まれる。（筒井）
A	商談会に出展することだけが目的になっておらず、その後の支援やフォローアップを丁寧にされていることが売上増加率の拡大といった成果につながっていると思います。（北島）
B	②商談会、③マーケティングセミナーは目標を達成できているが、①即売会出展・売上増加・販路拡大に繋がるような工夫が必要です。（成田）
B	売上増加率の伸びが素晴らしいと思いますが、11者中4者しか売上確認ができていない点の改善が必要だと思います。（大上）

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み (12~13P)

1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

【取組んだ内容】

事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記した事業評価報告書を作成し、事業評価委員会にて外部有識者から事業成果に対する評価・見直し案について提示を受けた。事業評価報告書及び評価・見直し案は商工会ホームページにて公表を行った。

①事業評価委員会の開催

- ・日 時：令和7年4月24日（木）10:30~12:00
- ・場 所：福崎町商工会館3階会議室
- ・議 案：令和6年度事業評価について
- ・出席者名：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏
株式会社日本政策金融公庫姫路支店 支店長 佐藤 文昭 氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部
播磨エリアマネージャー 北島 成浩 氏
福崎町地域振興課 課長 成田 邦造 氏
兵庫県商工会連合会 広域指導センター所長 白川 健治 氏
福崎町商工会 会長 大井 克哉 氏
福崎町商工会 副会長 小幡 八郎 氏
福崎町商工会 副会長 橋本 正彦 氏
福崎町商工会 事務局長 吉澤 幹夫
福崎町商工会 経営支援課課長 稲川 祐一
福崎町商工会 経営支援課主任 船田 和夫

【外部リンク】 [事業評価報告書](#)

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
毎年開催されている事業評価委員会ですが、外部からの意見を聞く良い機会です。この内容を取りまとめて公表することは大事だと思います。（成田）
しっかりと公表されています。（大上）

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

○支援能力の向上

①職員研修の受講による支援能力の向上

兵庫県商工会連合会等が主催する職責、相談業務、経営支援に必要な専門知識の習得と課題解決に向けた提案力を身に着けるための研修に年2回以上参加し、経営実態の把握や経営状況の把握及び経営計画策定など、小規模事業者の利益確保に繋がる支援能力の習得を図る。また、他の参加者の支援事例や講師の専門性を見極め、専門家活用におけるコーディネート力の向上に努める。特に令和7年度からは生成AI活用のオンラインセミナーが充実しており、基礎的な知識を学ぶことができた。

【受講した研修】

実施日	出席者	場 所	内 容
7. 4. 10	稲川・中川・船田	オンライン	令和7年度マル経推進キックオフミーティング
7. 4. 11	稲川・中川・船田	オンライン	令和7年度伴走型小規模事業者支援推進事業オンライン説明会
7. 4. 15	稲川・船田・山田	オンライン	今すぐ活用！生成AI活用術（文章編）
7. 4. 22	吉澤・大道・中川	オンライン	今すぐ活用！生成AI活用術（文章編）
7. 4. 22～23	山田	兵庫県商工会館	第1回新任職員研修
7. 4. 30	稲川・中川・船田	オンライン	中小企業新事業進出補助金事業概要説明会
7. 5. 1	稲川・大道	オンライン	今すぐ活用！生成AI活用術（検索・自社チャットボット・画像編）
7. 5. 13	吉澤・中川・山田	オンライン	今すぐ活用！生成AI活用術（検索・自社チャットボット・画像編）
7. 5. 19	稲川・大道・中川・山田	オンライン	事業計画策定に関するオンライン研修会
7. 6. 6～7	稲川・船田	兵庫県商工会館 神戸駅前研修センター	第1回チーフコーディネーター研修連絡会
7. 6. 7	全職員	神戸駅前研修センター	兵庫県商工会職員協議会通常総会・経営支援事例発表大会
7. 6. 17	稲川・中川・船田	オンライン	小規模企業振興基本計画に関する地域別説明会
7. 6. 20	稲川・船田	オンライン	採用マーケティングセミナー
7. 6. 25	大道・中川・山田	オンライン	採用マーケティングセミナー
7. 7. 9	大道・船田	オンライン	Makuake 応援購入を活用した事業拡大セミナー
7. 7. 11	稲川・中川	2階研修室	中播磨地区商工会経営支援担当者会議
7. 7. 11	山田	オンライン	商工会クラウドオンライン操作研修会
7. 7. 17	稲川	オンライン	第1回経営支援担当課長連絡会議
7. 7. 25	中川	姫路商工会議所	労働保険未手続事業一掃推進員研修会

7.7.28	稲川・中川	2階多目的ホール	マーケティングセミナー（第1回）
7.8.4	稲川・中川	2階多目的ホール	マーケティングセミナー（第2回）
7.8.5	稲川	オンライン	株PR TIMESによる職員向け説明会
7.8.5	山田	オンライン	中小企業退職金共済制度オンライン説明会
7.8.18	稲川・大道	オンライン	ミモザ企業認定説明会
7.8.27	大道	福崎町商工会館・多目的ホール	ビジネスコーチング研修会
7.8.28	船田	市川町文化センターコミュニティーホール	知的資産経営支援セミナー
7.9.9	副会長・森監事・吉澤	ホテル北野プラザ六甲荘	金融審査委員等講習会
7.9.10	中川	福崎町商工会館・多目的ホール	支援力向上研修会
7.9.19	稲川・中川	オンライン	AI時代の販促支援！SNS・画像・デザイン活用術
7.9.22	稲川・中川	オンライン	地域経済分析システム「RESAS」を活用した人口減少地域におけるマーケティング分析セミナー（基礎編）
7.9.26	稲川	福崎町商工会館・多目的ホール	管理マネジメント研修
7.9.29	中川・船田	オンライン	ゼロから始める”NotebookLK”による業務効率化オンラインセミナー
7.9.30	大道・山田	オンライン	AI時代の販促支援！SNS・画像・デザイン活用術
7.10.2	吉澤	兵庫県中央労働センター	令和7年度商工会管理者研修会
7.10.8	大道・山田	オンライン	ゼロから始める”NotebookLM”による業務効率化オンラインセミナー
7.10.9	山田	兵庫県中央労働センター	令和7年度フォローアップ研修会
7.10.17	全職員	1階相談室	ハラスメント研修
7.10.17	船田	オンライン	BCPセミナー

7. 10. 29	全職員	オンライン	全体コンプライアンス研修会
7. 11. 7	中川	日本政策金融公庫神戸支店	若手職員向けマル経（小規模事業者経営改善資金貸付）講習会
7. 11. 13	正職員	1階相談室	キャリアデザインセミナー
7. 11. 18	山田	オンライン	商工会クラウドオンライン操作研修会（決算・申告コース）
7. 11. 20	船田	オンライン	県助成事業オンライン説明会
7. 11. 28	稲川・船田	兵庫県中央労働センター	第2回チーフコーディネーター研修会
7. 12. 9	中川	兵庫県中央労働センター201号室	セルフマネジメント研修会
7. 12. 10	船田	2階多目的ホール	セルフマネジメント研修会
7. 12. 11	稲川・中川	2階研修室	中播磨地区商工会経営支援担当者会議
7. 12. 12	中川・山田	じばさんびる	県職協中播磨支部研修会
7. 12. 22	稲川・中川	オンライン	展示商談会等出展支援担当職員向け勉強会
7. 12. 23	稲川・中川	オンライン	展示会商談会『FOODSTYLE 関西2026』出展事業所向けセミナー
8. 1. 21～22	稲川・船田	神戸クリエイティブデザインセンター	第3回チーフコーディネーター研修会
8. 1. 30	稲川・山田・松田	市川商工会館	商工会職員税務研修会
8. 2. 4	吉澤	兵庫県中央労働センター小ホール	新人事評価制度・局長向け研修会
8. 2. 9	稲川	2階多目的ホール	新人事評価制度管理職（1次評価者）向け研修会
8. 2. 10	吉澤	ホテル北野プラザ六甲荘	令和7年度第2回商工会管理者研修会・第4回事務局連絡会議
8. 2. 13	船田	オンライン	地域経済分析システム RESAS マーケティングマップ 説明会
8. 2. 25	稲川・中川・船田	オンライン	令和8年度伴走型小規模事業者支援推進事業に係る説明会
8. 3. 17	稲川	オンライン	第3回経営支援担当者会議
8. 3. 19	稲川・大道	オンライン	AIを活用した事業計画書作成等に関するオンライン研修会

8.3.24	中川・山田	オンライン	AIを活用した事業計画書作成等に関するオンライン研修会
8.3.25	中川・山田	オンライン	新人事評価制度 被評価者向け研修会
8.3.26	稲川・大道・中川・船田	オンライン	令和8年度商工会・商工会議所向け起業家支援事業説明会

【コメント】

コメ ン ト	
十分な実績を確認できた。（荒木）	
研修は計画通りに実施され、指導員の資質向上に寄与している。今後は研修内容の高度化や多様化、外部講師の起用および指導員間の活発な情報交換によって、さらに質的な向上を図っていただきたい。（筒井）	
経営指導員や職員の皆様は日常の業務がお忙しいと思います。一方で中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境が早く、大きく変化する中、経営指導員や職員の皆様が、日々資質向上に取り組まれていることは、とても重要で素晴らしいことと思います。（北島）	
資質向上に積極的に取り組まれています。研修で得た知識を日々の業務に繋げて頂き、その上で商工会員の支援に努めてください。（成田）	
十分に研修を受講されていると思います。（大上）	

②中小企業支援担当者等研修の受講による支援能力の向上

職員の職務歴に応じて中小企業大学校が主催する中小企業支援担当者等研修に年1回参加する。

【受講した研修】

受講日	受講者名	受講先	内容
7.6.2~6.6	中川	中小企業大学校 東京校	小規模企業支援能力向上研修
7.7.8~7.10	稲川	中小企業大学校 関西校	資金繰り相談への対応実務

【コメント】

コメ ン ト	
十分な実績を確認できた。（荒木）	
研修は計画通りに実施され、指導員の資質向上に寄与している。（筒井）	
研修で学んだ知識を商工会員の支援に活かしてください。（成田）	
しっかりと取り組んでいただけていると思います。（大上）	

③創業支援研修による支援能力の向上

創業支援に必要な機関の研修を受講し、支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

今年度は研修に参加していない。

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
創業者が増えるよう支援に努めてください。 町の創業支援事業を活用ください。（成田）
今回は該当なしとのことであるが、機会があれば受講いただきたい。（大上）

④専門家派遣による支援能力の向上

小規模事業者に専門家を派遣する際には、担当職員が同行し、専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学ぶ。

【取組んだ内容】

小規模事業者等の多種多様な専門的経営課題を解決するため、中小企業診断士や社会保険労務士、税理士、弁護士、キャリアコンサルタント等の専門家派遣に職員が同席し、専門家の支援内容について共有化を図ると共に、派遣後のフォローを行った。（令和7年度専門家派遣回数 95 件）

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
専門家との情報交換によって、さらに質的な向上を図っていただきたい。（筒井）
各専門家の支援に同席して、支援に取り組むことは、経営指導員の皆様の支援力向上に資すると思いますが、それ以上に支援を受ける事業者さんにとっても安心感を与える取り組みになったのではないのでしょうか。（北島）
商工会員へのフォローを継続していただきたい（成田）
専門家派遣制度を活用いただき、個別具体的は専門家の支援手法を学び、これからも支援の幅を広げていただきたい。（大上）

⑤OJT 制度による支援能力の向上

ベテラン職員は、支援経験の少ない職員が伴走型支援を行う際に、専門家のコーディネートや支援手法など OJT により育成に努める。

【取組んだ内容】

経験豊富な職員より、持続化補助金等の様々な支援策や他の商工会の支援手法や専門家の活用方法等を伝える等、多様化する支援手法の情報共有に努めた。

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
取組みの継続により、さらに質的な向上を図っていただきたい。（筒井）
経験豊富な職員の方が、若手や後輩職員の方に OJT で支援手法等の情報共有などに取り組まれているのは、非常に良い取り組みだと思います。 この先もこの取り組みを続けていただければと、地域や地域の事業者にとっても大きな利益になると思います。（北島）

今後も継続して取り組んでください（成田）
若手職員を巡回や窓口での会員支援時に同席させるなど、学びの機会を増やしていただきたい。（大上）

⑥商談会同行による支援能力の向上

商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者への PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

FOOD STYLE JAPAN 2026 <関西>/ラーメン産業展 in Kansai に出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者への PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努めた。

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
取組みの継続により、さらに質的な向上を図っていただきたい。（筒井）
マーケティングスキルアップによる販路拡大を期待しています。（成田）
経営者のタイプによって商談手法も様々かと思しますので、このような機会を積極的に設け、支援力向上に努めていただきたい。（大上）

⑦DX 講習会等による支援能力の向上

経営環境がめまぐるしく変化する中で、経営指導員等及び一般職員は常に最新情報を先取りする必要がある。そのため、DX 推進のための IT スキルや法律改正、制度変更などの知識習得を個人で行うのではなく、組織として取り組む。関係機関と連携を図り、職員向けの「DX 講習会」や「制度改正説明会」などを開催し知識を習得し、事業者への提案力を強化する。

【取組んだ内容】

令和 7 年度は、最新 AI 活用による DX 実践セミナーを開催し、当日、職員 2 名も同席させ、DX 推進に資する IT スキルや活用事例の習得に努めた。また、兵庫県商工会連合会主催の「AI を活用した事業計画書作成」等のオンライン研修会には、全職員が積極的に参加し、AI 技術への知見を深めることで、組織全体としての相談支援能力の向上を図った。

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
今後も積極的なセミナー受講により、提案力の向上に努めていただきたい。（筒井）
職員の皆様にとって、DX や AI 技術への知見を深めることは簡単なことではないと思いますが、事業者に対する支援にあたっては、欠かせない知識になると思います。（北島）

経営課題であるDX・IT環境に対応できるよう商工会員への指導をお願いします。（成田）

生成AIを活用したDXの実践は引き続きトレンドであると思いますので、積極的に進めていただきたい。（大上）

○情報共有による資質向上

①経営カルテでの情報共有

支援に関する巡回時の記録、事業者の経営状況分析結果等を経営カルテとして蓄積し、情報の共有化を図ることで経営支援体制を構築する。

【取組んだ内容】

日々の巡回指導や窓口対応の記録を「経営カルテ」として集積し、事業所別や指導区分ごとの分類・検索機能を有効に活用することで、職員間での情報共有体制を整備した。これにより、必要な時に誰もが迅速かつ適切な対応を行える環境を構築した。また、経営支援課を中心に商工会システム「Garoon」のスペース機能を活用し、支援先ごとの詳細情報を入力する試験的運用を実施した。蓄積された共有データは、会員事業所への経営支援における基礎資料として機能しており、組織全体としての支援能力向上に寄与した。

【コメント】

コ メ ン ト	
充分な実績を確認できた。（荒木）	
情報共有を更に進め、経営支援能力の向上につなげていただきたい。（筒井）	
「経営カルテ」の作成や共有は一見地味な作業かもしれませんが、地域に根差した商工会として、（個別企業の支援履歴を保存し、共有することは）非常に大事なことだと思います。（北島）	
商工会システム「Garoon」の活用など情報共有に積極的に取り組まれています。（成田）	
Garoonを活用しての情報共有とのことで、おもしろい取り組みだと思います。（大上）	

②支援会議での情報共有

支援会議を月1回の頻度で開催し、実際に関わった支援の進捗状況、専門家派遣の内容報告を共有し、支援先の優先順位などを含め全員で意見交換し、支援ノウハウと意識の共有化を図る。

【取組んだ内容】

支援会議を月1回程度開催し、小規模事業者に対する支援状況について各担当者から説明を行うことで、支援ノウハウと意識の共有を図った。また、今後実施する事業について担当者以外にも情報共有を図りスムーズな事業運営に努めた。

実施日	議題
7. 4. 21	・補助金申請について

	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和6年度経営発達支援事業 事業評価委員会開催について ・令和7年度経営発達支援事業について ・その他について
7. 5. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・需要動向調査について ・公庫職員との巡回訪問について ・Canvaで実践！チラシ作成セミナーについて ・FOOD STYLE Kansai2026 出展について ・バーチャル展示会（国際フロンティア産業メッセ）について ・事業継続力強化支援計画について ・その他について
7. 6. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・展示会・商談会出展支援について ・ミモザ企業支援について ・バーチャル展示会（国際フロンティア産業メッセ出展）について
7. 7. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・ミモザ企業支援について ・展示会・商談会出展支援について
7. 8. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・ミモザ企業支援について ・展示会・商談会出展支援について ・バーチャル展示会（国際フロンティア産業メッセ出展）について ・「播磨フードビジネス商談会」サプライヤー募集について
7. 9. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・ミモザ企業支援について ・巡回指導件数表について ・サーバー更新について
7.11. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・SDGs 認証申請について ・令和8年度 県職員協議会中播磨支部役員について
6.12.18	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・専門家派遣の状況について ・需要動向調査に関すること ・新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること ・令和8年度経営発達支援事業について

8. 1. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・専門家派遣の状況について ・需要動向調査に関する事 ・新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事 ・令和8年度経営発達支援事業について ・地域の経済動向調査に関する事 ・需要動向調査に関する事 ・経営状況の分析に関する事 ・事業計画策定支援に関する事 ・事業計画策定後の実施支援に関する事 ・新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事
8. 2. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・専門家派遣の状況について ・指導件数のカウント（経営カルテ入力）について ・事業評価委員会について ・令和8年度経営分析セミナーについて ・但陽信用金庫 労働保険料の口座振替について ・県連会議情報の共有
8. 3. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・専門家派遣の状況について ・経済動向調査レポートについて ・事業評価委員会について ・巡回及び窓口相談件数について ・福崎町制度融資について ・令和8年度事務分掌について ・業務改善の取り組みについて ・商工会プラン実施計画について ・その他について

【コメント】

コ メ ン ト	
	十分な実績を確認できた。（荒木）
	情報共有を進め、支援ノウハウの向上につなげていただきたい。（筒井）
	支援の進捗状況、専門家派遣の内容等を共有する機会を定期的に設けられており、評価できます。継続していただくことで、各職員や経営指導員の皆様の更なる資質向上につながるものと思料します。（北島）
	引き続き定期的な支援会議を開催し情報共有に努めてください。（成田）
	毎月しっかりと会議を実施し、支援ノウハウを共有していると思われます。（大上）

③職員会議での情報共有

職員会議を月1回の頻度で開催し、研修等で習得した小規模事業者の支援事例や支援に有効なノウハウを紹介し共有化を図る。

【取組んだ内容】

職員会議を月1回開催し、研修会や会議等で得た情報や事業に対して他の職員へ情報共有を行い、全職員の支援能力やノウハウの向上に努めた。

実施日	議題
7. 4. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・事務分掌について ・決裁等ルートの見直しについて ・令和7年度共済集金担当について ・令和7年度記帳機械化担当について ・消防訓練について ・にぎわい春のガジマルシェについて ・会報「やまもも」について ・その他について
7. 5. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総代会・総代交流会について ・福崎町経営者協会定時総会について ・福崎町商業振興協同組合通常総会について ・中小商業者応援「なっ得商品券」について ・事業拡大・省力化を後押しする2大補助金説明会・個別相談会について ・次回会員案内発送について ・兵庫県商工会職員協議会中播磨支部通常総会について ・兵庫県商工会職員協議会通常総会・経営支援事例発表大会について ・会員巡回について
7. 6. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・源泉指導について ・健康診断実施事業について ・中小商業者応援「なっ得商品券」について ・中小商業者応援「なっ得商品券」追加発行について ・食品衛生講習会について ・えき酒場 in 福崎について ・夏まつりについて ・次回会員案内発送について
7. 7. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・中小商業者応援「なっ得商品券」について ・中小商業者応援「なっ得商品券」追加発行について ・産業祭について ・えき酒場 in 福崎について ・マーケティングセミナーについて ・夏まつりについて ・福崎町経営者協会ヴィクトリーナ姫路によるバレーボール教室について ・次回会員案内発送について ・コンプライアンスについて ・運営について ・公文書の基礎について

7. 8. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・福崎町経営者協会ヴィクトリーナ姫路によるバレーボール教室について ・商工会役員・経営者協会親睦ゴルフ大会について ・DX セミナーについて ・えき酒場 in 福崎について ・創業セミナーについて ・中小商業者応援「なっ得商品券」追加発行について ・BCP・事業継続力強化計画策定支援セミナーについて ・産業祭について ・次回会員案内発送について
7. 9. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・産業祭について ・なっ得商品券追加発行第2弾について ・消防訓練について ・一日金融相談会について ・商工会報1月号発行について ・商工会の情報発信について
7. 10. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・産業祭について ・なっ得商品券追加発行第2弾について ・一日金融相談会について ・商工会報1月号発行について ・職員の年末調整事務について ・その他について ・次回会員案内発送について
7. 11. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・共済の推進について ・情報発信について ・中青連 Autumn fair について ・商工会報1月号発行について ・業務分担、業務の引継について ・中播磨税務連絡会、意見交換報告について ・カルテの入力について ・年末年始の予定について ・次回会員案内発送について
7. 12. 16	<ul style="list-style-type: none"> ・新年交礼会について ・年末調整について ・LINE 公式アカウントの運用ルールについて ・商工会ホームページのリニューアルについて ・事務分掌について ・年末年始について ・次回案内発送について
8. 1. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・確定申告指導について ・FOOD STYLE Kansai2026 について ・仕事のことを語る会について ・未巡回事業所への巡回について ・商工会ホームページについて

	<ul style="list-style-type: none"> ・次回案内発送について
8. 2. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・決算・申告について ・建設業における事務所等労災保険の確認について ・次回案内発送について
8. 3. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会について ・監査会について ・労働保険年度更新について ・なっ得商品券について ・36 協定、24 協定、育児介護休業に関する協定の協議 ・職員向け研修について ・次回案内発送について ・その他

【コメント】

コ メ ン ト	
	十分な実績を確認できた。（荒木）
	情報共有を進め、支援能力の向上につなげていただきたい。（筒井）
	職員会議で地域住民・事業者が何を求められているか研究し実行してください。（成田）
	しっかりと月1回のペースで職員会議が開催されていますので、継続いただければと思います。（大上）

3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①職員同士の情報交換会の実施（年1回）

兵庫県商工会職員協議会中播磨支部において経営支援担当者及び総務担当者それぞれの情報交換会を実施する（令和5年度初実施）。情報交換会では、個々に蓄積されている支援ノウハウ等を共有し、兵庫県下の商工会職員全員が閲覧できるデータベースにノウハウを蓄積させ、全体での共有を図る。

【取組んだ内容】

兵庫県商工会職員協議会中播磨支部において、経営支援担当者会議を行い、今後の連携可能性を模索することを目的とした情報交換会を開催した。参加者の中には、中播磨地区のチーフコーディネーターもおり、各商工会で取り組んでいる事業と支援ノウハウについて共有を行った。また、豊岡市商工会を訪問し、先進的な取組みや支援体制など情報交換を行い、支援体制の強化・充実を図った。

【コメント】

コ メ ン ト	
	十分な実績を確認できた。（荒木）
	今後もノウハウ吸収に努め、取り組み強化につなげていただきたい。（筒井）
	播磨圏域内の商工会で情報交換に努めてください。得るものは大きいと思います。（成田）
	先進地を視察するなど工夫して取り組まれていると思います。（大上）

②広域支援機関との連携（年10回）

県下28商工会の事務局長及び県連幹部職員が参加する兵庫県商工会連合会事務局連絡会議（年4回）及び中播磨地区商工会連絡協議会（姫路市商工会・神河町商工会・市川町商工会・福崎町商工会）が実施する事務局連絡会（年6回）に参加して商工会同士の連携を深め、先行して認定を受けている商工会からの経営発達支援事業における支援ノウハウ等の情報を得る。

【取組んだ内容】

【兵庫県商工会連合会】

実施日	会議名	内容
7.7.2	第1回事務局連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回チーフコーディネーター研修連絡会 ・伴走型小規模事業者支援推進事業申請・採択状況 ・事業環境変化対応型支援事業執行状況 ・事業継続支援事業申請状況 ・ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業、ミモザ企業推進 ・県連直轄事業FOOD STYLE Kansai2026出展支援 ・国際フロンティア産業メッセ2025出展支援 ・チーフアドバイザー・ITアドバイザー・県連窓口相談員 ・IT導入支援事業
7.10.2	第1回商工会管理者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・管理者への期待 ・成果を導くマネジメント ・効果的なメンバーの育成 ・人を動かすコミュニケーション 講師 橋本中小企業診断士事務所 橋本佳士氏
7.10.20	第2回事務局連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業環境変化対応型支援事業 執行状況 ・制度改正等の課題解決環境整備事業 執行状況 ・事業継続支援事業 採択状況 ・ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業、ミモザ企業推進状況 ・労働環境対策事業専門家派遣 ・県連直轄事業FOOD STYLE JAPAN 2026 関西 出展支援 ・各種提案公募事業進捗確認商工会巡回 ・チーフコーディネーター来年度事業 ・チーフアドバイザー県連窓口相談活用 ・商工会の経営支援に関するアンケート調査報告
7.12.16	第3回事務局連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・事業環境変化対応型支援事業執行状況、実地調査 ・制度改正等の課題解決環境整備事業の執行状況 ・伴走型支援推進事業執行状況 ・FOOD STYLE Kansai2026出展支援 ・中小企業診断士協会との共催事業

		<ul style="list-style-type: none"> ・各種提案公募事業巡回実施状況 ・ひょうご産業 SDGs 推進宣言・認証事業 ・創業支援に関するアンケート調査結果
8. 2. 10	第2回商工会管理者研修会	<p>「ハラスメントにおけるリスクマネジメントについて」</p> <p>講師 アドヴァリュース社会保険労務士事務所 兵庫県商工会連合会 副主任チーフアドバイザー 安藤 都昭 氏</p>
	第4回事務局連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度補正予算 事業環境変化対応型支援事業執行状況について ・令和7年度補正予算 事業環境変化対応型支援事業要望状況について ・制度改正等の課題解決環境整備事業執行状況について ・伴走型支援推進事業執行状況について ・FOOD STYLE JAPAN 関西出展支援結果について ・各提案公募型事業申請状況について ・ひょうご産業 SDGs 推進宣言・認証事業実績について ・令和7年度兵庫県政労使会議共同メッセージ

【中播磨地区商工会連絡協議会】

実施日	会議名	内容
7. 5. 13	第1回事務局会	・令和7年度事業について
7. 7. 11	第1回経営支援担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議の目的の共有及び方向性、運営方法の検討 ・各商工会による事業、セミナー、支援内容の共有 ・各商工会の支援課題の共有
7. 8. 19	第2回事務局会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度事業の進捗状況について ・バーチャル展示会について ・広域連携 先進地視察研修について
7. 12. 11	第2回経営支援担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各商工会からの議題持ち寄り発表と絞り込み ・経営支援の広域連携について ・来年度事業について

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
今後もノウハウ吸収に努め、取り組み強化につなげていただきたい。（筒井）
県連だけでなく、ほかの広域支援機関とも幅広くかつ継続的に連携を進められており、評価できます。（北島）
広域支援機関との連携が図れています。（成田）
広域的に他機関との情報共有の場に参加されておりますので、継続してご参加いただければと思います。（大上）

③専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携（年3回）

これまで商工会で開催してきたセミナーや専門家派遣等により中小企業診断士・税理士等の専門家や兵庫県よろず支援拠点とは、情報交換しやすい環境が整っており経営発達支援事業を進めるうえで連携を強化していく。また、これまで同様経済動向調査並びに需要動向調査にも専門家を活用し小規模事業者の経営分析や事業計画策定支援に取り組む。

特に兵庫県よろず支援拠点とは、創業セミナー等の各種セミナーを連携して開催しているため年度当初、年度途中、年度末に情報交換を行い、効果的かつ効率よく小規模事業者への支援に繋げる。

【取組んだ内容】

これまで培ってきた中小企業診断士・税理士等の専門家とのネットワークおよび兵庫県よろず支援拠点との連携基盤を活用し、小規模事業者の経営力向上を目的とした支援体制の強化に取り組んだ。具体的には、専門家と職員が同席のうえで個別の経営指導にあたることで、事業者の課題解決に向けた伴走型支援を推進した。また、兵庫県よろず支援拠点とは、マーケティングセミナーを連携して開催し、効果的かつ効率よく小規模事業者への支援に繋げた。

【コメント】

コメ ン ト
充分な実績を確認できた。（荒木）
今後も専門家のノウハウ吸収に努め、取り組み強化につなげていただきたい。（筒井）
身近で相談しやすい拠点である「よろず支援拠点」と連携されていることは素晴らしい取り組みと思います。他県では、商工会が連携して、よろず拠点の出張相談会を各地域で定期的に取り組まれている事例なども聞きます。引き続き連携した取り組みを進めていただきたい。（北島）
小規模事業者への支援に繋げてください。（成田）
よろず支援拠点と定期的に連携されている商工会は珍しいと思いますので、この中から何か良い成果に繋がった事例があればお聞きしたいです。（大上）

④地域金融機関との連携（年2回）

福崎町及び町内金融機関（株式会社みなと銀行、株式会社但馬銀行、播州信用金庫、但陽信用金庫、姫路信用金庫）との情報交換を開催する。金融支援他、創業や経営改善における事例や課題などについての情報交換を行い、今後の支援に対する方向性の共有を図りながら連携して個社支援に取り組む。

【取組んだ内容】

福崎金融協会（株式会社みなと銀行、株式会社但馬銀行、但陽信用金庫、姫路信用金庫）と懇談会を行い、管内の景況感、各金融機関の取り組み、商工会員の相談傾向とニーズ、福崎町の施策についてなど情報交換を行い、今後の支援に対する方向性の共有を図った。

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
地域一体となった事業者支援のため今後も継続していただきたい。（筒井）
地域金融機関との連携や情報交換の活動は引き続き取り組んでいただきたい。（北島）
町内の金融機関との情報交換は重要です。継続して取り組んでください。（成田）
地域金融機関とお互いの強みを活かした連携支援のような事例ができると良いですね。（大上）

⑤株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携（年1回）

株式会社日本政策金融公庫姫路支店管内の商工会・商工会議所による連絡会議において、金融支援他、各地域の資金需要動向や地域経済動向について情報交換を行っている。また、小規模事業者等から金融相談を受けた時は、迅速に対応するため、普段から公庫職員と商工会職員の情報交換を図り、公庫職員が商工会職員に同行して小規模事業者を訪問するなど、よりきめ細かな支援を目指す。

【取組んだ内容】

日本政策金融公庫姫路支店管内の商工会・商工会議所による連絡会議に出席し、マル経融資の貸付実績や事故率の推移を確認するとともに、地域情報の共有を図った。また、姫路市商工会と日本政策金融公庫姫路支店との共催で「一日金融公庫」を開催し、2件の相談に対応した。同事業の機会を捉え、両者で意見交換を行い、連携体制の強化を図った。あわせて公庫職員との合同巡回の実施など、連携を密にすることで、会員事業所の資金調達に対する迅速な対応を可能にした。

【コメント】

コ メ ン ト
十分な実績を確認できた。（荒木）
引き続き緊密な連携をお願いしたい。 マル経の推進をお願いしたい。（リストの提供、帯同訪問のサポートは可能） （筒井）
連携強化ができています。（成田）
これからも日本政策金融公庫と連携し、円滑な金融支援に努めていただければと思います。（大上）